

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

別紙 4

公表：平成 31 年 3 月 13 日

事業所名 児童発達支援センター ぽぷら

保護者等数（児童数）32 回収数 32 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	32	0	0	0	・ 少人数なので今のスペースで十分 ・ のびのび動いている	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	30	1	1	0	・ 専門性については詳しくわからないが色々ケアされている ・ いつも近くにいてくれて安心 ・ 見学や行事等、個別対応してもらい、助かる ・ クラスに先生がたくさんいて、安心して預けられる	
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	30	1	0	1	・ 写真や絵を利用して伝えるなど、工夫されている ・ ロッカー等子どもにわかりやすく示してくれ自分で仕度する姿もみられる ・ 特性に合わせるのは個々で違うので難しいのでは	・ 視覚支援や構造化を取り入れ環境設定をしています
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	31	0	0	1	・ いつもきれいである	・ 心地よく安全に過ごせるよう掃除、消毒を行い、清潔な空間を保つようにしています
	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	31	1	0	0	・ 子どものことをよく見ている ・ 子どもができそうなことを考えてくれている ・ 親の意見も聞いてくれている	

適切な支援の提供

⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	31	0	0	1	・子どもの能力をどんどん引き出し、色々考えてくれている ・ガイドラインを理解していないため、わからない	・契約時に説明していきます
⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	30	2	0	0		
⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	25	3	1	3	・3年間あまり変化がない	・クラス編成にもよりますが現在年間計画を見直しています
⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	24	4	0	4	・すべての子が対象ではない ・そのような機会があるのかわからない ・機会はつくられているが、受け入れ側や市の理解不足、福祉と教育が別々になりすぎてる ・色々な園と活動する機会があり嬉しい	・子どもたちが無理なく参加できる方法を考えていきます
⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	31	1	0	0		
⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	31	1	0	0		
⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	25	4	1	2	・トレーニングではないが、会話することで気持ち楽になる	・保護者が子どものことを気軽に話せる場を作っていきます

⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況や課題について共通理解ができているか	29	2	0	1	・ お便り帳や直接話すことで十分できている ・ 意見、気になったことを聞いてくれ、子どもができたことを一緒に喜んでくれる ・ 共通理解にはなっていない ・ 保護者側に現状を伝えられずにいる	・ 面談や送迎時連絡帳にて子どもの様子を伝えながら、発達段階の確認、情報共有をしています
⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	31	1	0	0		
⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	29	3	0	2	・ クラスが違えば保護者同士の話はなかなかできない ・ 父母だけでなく祖父母も参加しているので、満足である ・ 初年度で保護者間の連携までは難しかった	・ 保護者等が積極的に参加できる行事等、工夫していきます
⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	30	2	0	0	・ 特別な相談はしていないので、どちらとも言えないが、迅速に対応してくれている ・ 忙しい中でも笑顔で対応してくれる ・ 色々な先生が声をかけてくれる ・ 電話で相談したり、何かあると話すことができて聞いてくれるだけで楽になる ・ いつも素早い対応で子どもの為の方向性を示してくれる	
⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	30	2	0	0	・ 子ども自身、意思を伝えることが難しいが、様子を伝えてもらえる ・ 先生から話しかけてくれるので、伝えやすい	

	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	30	1	0	1	・活動や予定を毎月おたよりにて確認できる ・「業務に関して」はよくわからない ・毎回楽しみにしている ・さぼーと	・園で行っている事業を具体的にわかりやすく発信していきます
	⑲	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	32	0	0	0		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	31	1	0	0	・マニュアルが存在するのなら提示してほしい ・登園許可証が必要か、現状の資料ではわかりにくい	・掲示板に保健コーナーを掲示していきます ・出席停止の項目を見直していきます
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	31	0	0	1		・保護者会、懇談会等でその都度確認していきます
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	31	1	0	0	・毎朝楽しみにしている ・出来事や友達のことを嬉しそうに話している	
	㉓	事業所の支援に満足しているか	29	3	0	0	・毎朝楽しみにしている子ども一人ひとりをよく見て対応してくれている ・初めは不安もあったが安心して任せられることに満足している ・いい面もたくさんあるが、もっとこうしたいというのを、どこまで求められるかよくわからない	・意見や思いを言いやすい関係作りを心掛けていきます

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

別紙3

公表：平成 31年 9 月 13 日

事業所名 児童発達支援センター ぽぷら

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	17	0	・肢体児のいるクラスではサークルやパーテーションを利用し、安全確保やあそびのコーナー分けを行っている	
	②	職員の配置数は適切である	12	5	・子どもの出席状況や活動内容に合わせて、クラス外の職員が補助に入るようにしている	・今後も安全面に配慮しながら、状況に合わせて補助が入るようにしていきます
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	16	1		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	17	0	・サークルの利用や口に入れることを常に考えたおもちゃの選択をしている	・今後も発達段階に応じた玩具等を提供していきます
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	15	2		
	⑥	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	13	4		・今年から実施している為、改善にはまだつながっていないが、保護者の思いを聞き、改善できるようにしていきます
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	13	4		・今年度よりホームページにて情報公開していきます
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	17		・第三者評価は受審していません
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	17	0	・月1回、園内・園外研修・リーダー会議を実施している	
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	17	0		

適切な支援の提供	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	16	1	・写真やカードの活用 ・マカトンサイン	・今後も写真カードやマカトンサイン等、積極的に活用していきます
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	15	2		・「発達支援」「家族支援」「地域支援」の視点から個別支援計画書を作成しています
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	15	2		・年2回面談、中間評価を実施し、発達の評価をしています
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	16	1		
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	15	1		
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	16	1		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	16	1	・必要に応じて、クラスごとで支援方法等、話し合っている	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	14	3	・月1回クラス会議を実施。行事ごとの振り返り等はその都度行っている ・気づいたこと、気になること等は職員間で話をしている（共有している）	・全体での終礼は行っていないが、クラスごとその日の保育の振り返りを行っています
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	17	0		
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	17	0		
関係機関	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	16	1		
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	14	3	・親子教室、色えんぴつ児発との連携をとっている	・保健センターや子ども相談センターとも情報を共有しながら発達支援を行っています
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				

や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	②④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	15	2	・他園に行き、体験させてもらったり、グループ交流を行っている ・移行先の園と情報共有している	・移行時には必ず園に行き、子どもの支援内容等を伝えています
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	15	2	・就学先の学校と情報共有している	・移行時には必ず学校に行き、子どもの支援内容等を伝えています
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	13	4	・助言や研修はしていない が発表会の見学に行った	・機会があれば、積極的に参加し、意見交換していきます
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	17	0	・グループ交流行っている	
	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	15	2		・定期的に子ども部会等に参加しています
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	17	0	・毎日お便り帳にて具体的な様子を記入している	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	6	11		・保護者が子どものことを気軽に話せる場を作っていきます
保 護 者	③⑫	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	14	3	・保護者会総会にて説明している	・入園時における契約の際、丁寧な説明を行っています
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	16	1		
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	17	0	・送迎時や連絡帳、面談等を通して保護者の相談に応じ、助言している	
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	16	1	・おしゃべり会、保護者会の打ち合わせに参加している	

への説明責任等	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	17	0	・面談を実施している	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	17	0	・クラスだより、ぽぷらだよりを発行している	
	③⑧	個人情報の取り扱いに十分注意している	17	0		
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	17	0	・保護者とは、毎日の連絡帳を活用し、具体的に様子を伝えている	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	9	8	・発表会の総練習では他事業所が参加してくれた ・日頃、関係のある機関の方たちを招待している ・ふれあい広場、グループ交流への参加	・地域のボランティアの受け入れを積極的に行っています
非常時等の対応	④①	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	16	1		
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	17	0		
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	17	0		
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	17	0	・指示書をもらっている	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	17	0	・園内研修で取り上げている。ヒヤリハットがあった場合には、すぐに記録し、会議で全体に周知している	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	16	1		
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	15	2	・個別支援計画書に記載している	・個別面談で伝えるとともに、身体拘束に関する同意書にサインをいただいています

○この「児童発達支援自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。